



超私の奉仕

本 庄

ロータリークラブ会報

NO 43-18 第2077回 例会 11月17日 2005年11月24日 発行
2005~2006年度国際ロータリー会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー 第2570地区ガバナー 野中弘之
会長/野村正行 会長エレクト/渋谷修身 副会長/武井包光 副会長/中村 孝 幹事/温井一英

本日の例会

ロータリー財団月間

卓 話

「介護老人福祉施設の動向」
安誠園園長 岡芹正美 様

進 行 SAA 福島文江 委員
点 鐘 午後 12 時 30 分 野村正行 会長
ソング 「我等の生業」「ふるさと」

会長の時間 野村正行 会長



日の暮れるのが早い今日この頃です。
良く言ったもので、秋の日はつるべ落とし、まさにそのとおりで、もはや師走が間近です。

今日は、アイバンク委員会が計画していた事業が都合が付かないために、それにかえて「老人福祉施設の現場から」と題する卓話を当該委員会委員長の岡芹正美会員にお願いしています。

いくつか報告事項があります。

- ・11月5日から6日に開かれた第29回本庄学生書道展入賞者について、本庄ロータリークラブ賞に寺井香葉子さん(中学二年生)が特選賞に入選されました。当クラブより会員の戸谷丈堂氏並びに岩本高陽氏が出席され授与しました。

- ・11月8日(火)にいわゆる4C、又、秩父RC参加依頼によるゴルフ・コンペが行われました。ゴルフ部に選手依頼をし、選手として出席した会員の皆様にはご苦勞様でした。
 - ・11月10日(木)例会後の社会奉仕委員会が担当するクラブ事業の一環である「素人手品施設訪問」をトマト村福祉施設で行いました。
 - ・11月12日(土)市民球場で行われた第7回山中杯中学校野球本庄大会の開会式に本庄RC会長として来賓出席しました。
 - ・11月16日(水)第4グループIM親睦チャリティーゴルフコンペが美里ロイヤルゴルフクラブで行われ、本庄RCより3組の12名が参加しました。主管クラブは児玉RCであります。
- 連絡事項として
- ・11月10日付の書面で本庄ロータリークラブ指名委員会開催の通知を出してあります。本日の例会終了後行いますので、出席方よろしく願います。

幹事報告 温井一英 幹事



- ・先週はトマト村で素人手品ご苦勞様でした。今日皆さんのテーブルの上に置いてあるラスクですが、トマト村から感謝のお礼です。
- ・ロータリー家族委員会の旅行では大変お世話になりました。今日は岡崎さんに多く方に写真を持って来て頂きまして、有難う御座いました。
- ・27日の楽市には、1人でも多くの方の出席をお願い申し上げます。
- ・インターネット速報が届いています。

委員会報告

岩淵富男 ロータリー財団委員長



先週地区ロータリー財団部門委員長の梅沢様にお出で頂きましたが、その折にロータリー財団カードの協力依頼がありました。

ゴールドカードは年会費 10,500 円、利用金額は 200 万～500 万円まで使えます。スタンダードカードは年会費無料で 30 万～50 万円まで利用可能です。是非ご協力をお願いいたします。

後藤芳生 地域社会奉仕委員長



楽市では沢山のご協力有難うございます。12 日搬入場所は閉じまして、約 6 割の会員方から提出頂き有難うございました。未提出の方には、1 点につき 1,000 円計 3,000 円を徴収させて頂きま。これは理事会決定となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

また、品物は 27 日楽市前日まで、すみれ幼稚園で受け付けておりますので、お願いいたします。

当日 27 日は午前 8 時集合、銀座通り北海亭の前となっておりますので、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

先週、素人手品施設訪問第 2 回目でトマト村へ行って参りました。年が明けてあと 1 回計画しております。

凧揚げ大会は風の強い 1 月・2 月頃を計画しておりますので、宜しくお願いいたします。



来週 24 日(木)ゴルフ・コンペが富岡レイクウッドで開催、集合 9 時となっておりますので、宜しくお願いいたします。

戸谷 丈 会員



去る 11 月 7 日本庄市学生書道展にロータリー賞を授与して参りました。出品数が 470 点、減少気味です。審査もしてみましたが各作品共立派なものでした。来年以降も実施されますので、宜しくお願いします。

ニコニコボックス 五十嵐敦子 委員 (敬省略)



本日のテーマ「老人福祉の動向」安誠園園長岡芹正美様卓話宜しくお願いいたします。

(同文にてご投入頂きました)

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 田中 克 | 松原幹男 | 下山正男 | 斉藤清一 |
| 今泉憲治 | 戸谷 丈 | 野村正行 | 橋本恒男 |
| 武井包光 | 坂本雄一 | 矢島淳一 | 萩原達夫 |
| 笠原 勝 | 渋谷修身 | 梅村孝雄 | 佐藤賀則 |
| 岩淵富男 | 渋谷健司 | 巴 高志 | 古瀬末雄 |
| 江原栄一 | 岡芹正美 | 野澤章夫 | 福島文江 |
| 温井一英 | 立石秀寿 | 茂木 聡 | 春山茂之 |
| 中村 孝 | | | |

加藤玄静

昨日 16 日第 4 グループ IM チャリティー親睦ゴルフ大会が無事終わりました。本庄クラブより 12 名の参加有難う御座いました。

岡崎正六

第 4 グループ IM チャリティーゴルフ大会が盛大に出来ました。ご協力有難うございました。

田中 克

昨日の IM の親睦チャリティーゴルフ大会にご参加の皆様大変お世話になりました。

岩本英人

喜寿 4 人会展ご来場有難う御座いました。今後共宜しくお願いいたします。

岩堀 薫

小此木さん税務署感謝状受賞をお祝いして。

小此木昭二

早退します。

本日ニコニコ合計 35、000円

出席報告 茂木 聡 委員長

(敬省略)



会員数	出席免除会員数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
77名	7名	70名	45名	81,4%

メーカーキャップ数 12 枚

欠席届出者

井河久昇	石原輝弥	金子 弘	内野昭八郎
杉山淑子	関根 貢	高柳育行	竹並栄一郎
戸谷清一	西村賢次	沼田恵義	野口光大
藤井 仁	町田国彦	三宅健吉	横尾セツ

矢島淳一 プログラム委員長



本日の卓話はアイバンク委員長の岡芹正美会員に「老人福祉の動向」ということで、我々の生活にも非常に関心のあることです。皆様ご清聴の程宜しくお願いいたします。

卓 話

「介護老人福祉施設の動向」

安誠園園長 岡芹正美 様



1、指定介護老人福祉施設（老人福祉法の基準を満たした特別養護老人ホーム）
都道府県知事が指定（H12、4 現在みなす経過措置）

目的：入所して介護サービスを受けることより生活を安定させる施設であり、利用者本人の選択により長期入所する施設（日常生活を支援する機能）

サービス：施設サービス計画に基づいて行われる入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話

利用対象者：第 1 号被保険者の 65 歳以上の高齢者

第 2 号被保険者の 40 から 64 歳の要介護被保険者

介護・援助の視点：介護サービス計画（ケアプラン）

- ・ 個別援助（ユニットケアもその一つ）
- ・ 自立支援（機能低下の防止や残存機能の維持）
- ・ 通過機能
- ・ H14、8 優先入所
- ・ H15、4 介護支援専門員の設置

- ・ 小規模生活単位型介護老人福祉施設（新型特養）
： H15、4より介護報酬改定
： 完全個室のユニットケア（10人以下）
： ホテルコスト
- ・ 「身体拘束」ゼロ作戦
： 原則禁止（身体拘束ゼロへの手引き）
： 介護のあり方の問題
- ・ 高齢者虐待
： 身体的虐待、ネグレクト、性的虐待、心理的虐待、経済的虐待、セルフネグレクト
- ・ ターミナルケア

2、介護保険をとりまく環境変化

- ・ 施行3年目の保険料の見直し、介護報酬の改定（H15、4）
- ・ 施行後5年に予定されている「制度の見直し」の実施（H17、4）

(1)サービスの利用者は3年半で急増（H12、4→H15、10）

第1号被保険者数 2,165万人→2,429万(12%増)

要介護認定者数 218万人→376万人(72%増)

在宅サービス利用者数 97万人→220万人

(127%増)

施設サービス利用者数 52万人→74万人(43%増)

1号保険料 2,911円（H12～14年）→3,293円

（H15～17年）(13%増)

(2) 2015年の高齢者像

2015年は本格的な超高齢社会の「入り口」ア、高齢者人口の「ピーク前夜」へ

- ・ 2015年は「第1次ベビーブーム世代」が前期高齢者（65歳～74歳）に到達
 - ・ 2025年は高齢者人口がピーク（約3,500万人）後期高齢者（75歳～）になる
- イ、高齢者の一人暮らし世帯が「500万世帯」へ

- ・ 2015年は高齢者世帯が約1700万世帯に増加し、そのうち一人暮らし世帯は約500万世帯（約30%）に達する

ウ、痴呆性高齢者が「250万人」へ

- ・ 現在痴呆性高齢者が約100万人と見込まれるが、今後急速に増加し、2015年には250万人になると推計される。

(3) 介護保険制度改革の主な内容

- ・ 予防重視型システムへの転換→新予防給付の創設、地域支援事業の創設
- ・ 施設給付の見直し→居住費用・食費の見直し、低所得者等に対する措置
- ・ 新たなサービス体系の確立→地域密着型サービスの創設、地域包括支援センターの創設

居住系サービスの充実（有料老人ホームの見直し等）、

医療と介護の連携の強化、

地域介護・福祉空間整備等交付金の創設

- ・ サービスの質の確保・向上→情報開示の標準化・事業者規制の見直し、ケアマネジメントの見直し

- ・ 負担の在り方・制度運営の見直し→第1号保険料の見直し、市町村の保険者機能の強化

要介護認定の見直し

介護サービスの適正化・効率化

- ・ 被保険者、受給者の範囲→社会保障制度の一体的見直しと併せて検討、その結果に基づいて平成21年度を目途として所要の措置を講ずる

- ・ 施行：平成18年4月

（但し施設入所費用の見直しについては平成17年度10月施行）

(4) 施設サービスの在り方

- ・ 個別ケアの推進・・・個室・ユニットケア
- ・ 在宅との連携強化・・・ケアマネジメントのあり方
- ・ 重度化への対応・・・ターミナル（医療との連携強化）

広聴広報委員会 中島高夫・杉山淑子・岩本英人・笠原 勝・西村賢次

■例会日 毎週木曜日 12:30～13:30

■事務所 埼玉グランドホテル本庄 700号
〒367-0041 本庄市駅南2-2-1

TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄

Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp

ホームページ

<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>